

令和2年11月11日

四国新聞 14面（地域総合）で掲載していただきました。

ありがとうございます。



発行所 四国新聞社
〒760-8572
高松市中野町15番1号
©西国新聞社 2021年

(14)

地域総合

2020年（令和2年）11月11日（水曜日）

11月

作家の佐々木良さん（左）が、瀬戸内の歴史や文化に関する本を専門とする出版社「万葉社」を8月に設立、書籍「瀬戸内」を出版社をモットーに「瀬戸内の情報なら万葉社」と言われるまで成長させた」と語っている。

中学校の校外学習で訪れた土庄町の書局で、書籍に衝撃を受けたのが、瀬戸内は興味を持ってみたいとなったきっかけ、書局の経営者で勤務した時、自然豊かな瀬戸内というところがある、と驚かされたことがある。

「これまで瀬戸内の歴史に関する本など、書籍を東京の出版社から発表した、当時

瀬戸内の歴史伝えたい

東京の編集者と地方の本を作ることに挑戦を感じ、「瀬戸内の歴史や文化を盛り込める出版社が地元にも必要」と考えた。そんな折、新型コロナウィルスの感染が拡大し、特別定額給付金を資本金に社会貢献できればと会社設立に踏み切った。

社名は「万葉集のよみに近い過去と新しい時代をつなぐ本を作りたい」という思いを込めた。現在、瀬戸内にもゆかりがあるとされる万葉集について執筆するための調査を進めている。

「事業を成功させ、夢の実現を目指す若者の希望になりたい」。挑戦は始まったばかりだ。



「瀬戸内の情報なら万葉社と言われたい」と話す佐々木さん